

1. 科目名 (単位数)	高齢者介護論 I (2 単位)	3. 科目番号	SNMP1110
2. 授業担当教員	岡田 稔		
4. 授業形態	講義および演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>高齢者の生活に視点を当て、「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解する。また、生活を支援する上で必要な制度、サービスの現状を理解し、他職種との連携を図りながら高齢者の生活を支えていくことの必要性を理解することを目的とする。</p> <p>高齢者の生活に視点をあて、事例を通して「人間と社会」「こころとからだのしくみ」で学習したことを具体的に反復しながら、生活支援技術を行う上で必要な考え方や支援の視点について習得できるよう授業を展開する。</p>		
8. 学習目標	<p>以下について理解し、援助が行えるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者像を理解し、説明できる。</li> <li>2. 高齢者の生活の実際を理解し、説明できる。</li> <li>3. 介護福祉士の役割と支援の視点及び方法を理解し、説明できる。</li> <li>4. 高齢者や介護を必要とする高齢者を支える社会的背景を理解し、説明できる。</li> <li>5. 高齢者や介護を必要とする高齢者を支える仕組みや現状を理解し、説明できる。</li> <li>6. 高齢者に対する尊厳、自立の考え方を理解、説明できる。</li> <li>7. 高齢者の終末期について理解し、説明できる。</li> <li>8. 高齢者に対する権利擁護について理解し、説明できる。</li> <li>9. 高齢者介護における介護福祉士の実践の内容とその際の重要な視点を理解し、説明できる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業内でまとめられなかったレポートやディスカッションのまとめは、次回の授業で提出すること。</li> <li>② 自分が目指す介護福祉士像と、それに向けて今後何をしていくかについてレポート (指定用紙) にまとめる。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 介護概論で使用した『介護の基本 I』・『介護の基本 II』を使用するため、新たに購入する必要はありません。その他適宜、資料を配布する。</p> <p>【参考書】 授業の中で適宜紹介する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者像や高齢者の生活の実際を理解することができる。</li> <li>2. 高齢者や介護を必要とする高齢者を支える社会的背景を理解し説明できる。</li> <li>3. 高齢者に対する尊厳、自立の考え方を理解し説明できる。</li> <li>4. 高齢者の終末期について理解し説明できる。</li> <li>5. 高齢者に対する権利擁護について理解し説明できる。</li> <li>6. 上記のことについて、適切な内容でレポートを作成する。</li> </ol> <p>○評定の方法 [レポート 授業への積極的参加度、を総合的に評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポート 70%</li> <li>2. 授業態度 30%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>「人間と社会」「こころとからだのしくみ」との関連をふまえて、学習していくようにしてください。 「介護概論」や「生活支援技術・基本 I」の学習を参考に、高齢者についての理解を深めてください。</p>		
13. オフィスアワー	第 1 回目の授業で説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	講義の概要説明戸進め方について テーマ「高齢者」 高齢者の加齢による変化を「こころとからだのしくみ」から理解を深めていく。ICF の概念にそって、健康状態、心身機能・身体構造、活動、参加においてどのような変化があるかについてグループ討議を行い、表に整理して発表してもらう。	事前学習	シラバスをよく読み、本科目の内容を理解する。高齢者に関わる全体像を幅広い視点でとらえて考える。
		事後学習	グループ討議で作成した表に、他のグループの発表から参考となるものを追記し、理解しておく。
第 2 回	テーマ「高齢者の生活」 高齢者の理解から、高齢者の個性や様々な生活様式、習慣、価値観の多様性を理解し、その人らしさを尊重して、支援していくことの重要性を具体的に理解できるように進めていく。	事前学習	前回作成された内容について、具体的に高齢者の暮らしについて調べておく。
		事後学習	高齢者のその人らしい暮らし方について説明できるように整理する。
第 3 回	テーマ「高齢者の健康」 WHO の概念から健康とは何かを理解する。また、高齢者の健康と健康ではない状態において、どのような状態が起こるか、介護福祉士が支援していく人はどのような健康状態にある人であるかについて理解できるように進めていく。	事前学習	WHO の健康の概念を確認しておく。
		事後学習	心身の健康、社会的な健康について説明できるように整理する。
第 4 回	テーマ「高齢者の活動性の向上」	事前学習	サクセスフルエイジングについて調べてお

	ICFの概念より、生活の不活発から生じる機能低下から、高齢者の活動性の向上の必要性について、ICFの概念図を用いて、生活の不活発な悪循環と生活の活発な良循環について理解できるように進めていく。	事後学習	高齢者の活動性の向上を目指した具体的なプログラムを考え、レポートを作成する。
第5回	テーマ「高齢者に起こりやすい疾病」 「こころとからだのしくみ」から、高齢者に起こりやすい主な疾病について示し、介護福祉士が行う対応について、また、医療との連携の必要性について概略的に理解できるように進めていく。	事前学習	高齢者に多い疾患について、統計をもとに調べておく。
		事後学習	高齢者が健康な状態で生活するために、保健・医療との連携について整理する。
第6回	テーマ「高齢者介護の社会的背景」 少子高齢社会の現状と将来の状況についてデータを用いて説明し、そのことを踏まえて高齢者介護の置かれている問題を理解し、介護福祉士の役割や専門職として求められている介護福祉士像についての理解ができるように進めていく。	事前学習	現在の社会における高齢者の介護問題について調べる。第6回授業時に、調べた新聞等の記事を持参する。
		事後学習	求められる介護福祉士像について整理する。
第7回	テーマ「高齢者への対応」 加齢により重複するさまざまな障害とその対応について、事例を通して考えながら、介護福祉士として求められる対応について理解が深められるように進めていく。	事前学習	事前に配布された事例を読み、課題について考える。
		事後学習	事前学習の内容について授業を受けて介護福祉士の役割を整理する。
第8回	テーマ「高齢者の尊厳の保持」 高齢者の支援において重要な視点「尊厳」について理解を深めていくとともに、事例を通して「高齢者の尊厳の保持」について考え、介護福祉士として実践していく上で、どのような視点で望んでいかなければならないかを理解できるようにすすめていく。	事前学習	尊厳について考える。
		事後学習	人権について考えるとともに、「自分らしさ」について考える。
第9回	テーマ「高齢者の自立」 高齢者の支援における重要な視点である「自立」について理解を深めていくとともに、事例を通して「高齢者の自立支援」について考え、介護福祉士として実践していく上で、どのような視点で望んでいかなければならないかを理解できるようにすすめていく。	事前学習	自立とは何かについて考える。
		事後学習	自立と依存の関係について整理し、自立支援に向けた介護の在り方について整理する。授業の中で提示する課題についてレポートを作成し、次回授業時まで提出する。
第10回	テーマ「高齢者の終末期」 「こころとからだのしくみ」の学習と関連づけ、「死」「終末期」とは何かについて理解を深め、介護福祉士の「介護福祉士の役割」の理解と考え方について理解できるように進めていく。	事前学習	人間の死について考える。
		事後学習	死と向き合うための心構え、介護福祉士としての役割について整理する。
第11回	テーマ「高齢者の権利擁護」 現代社会の高齢者が置かれている状況の中で、高齢者の権利擁護、プライバシーの保護、説明と同意、個人情報保護についての重要性を理解すると共、具体的にどのような対応が必要であるかについて、事例を通して理解できるように進めていく。	事前学習	第8回の授業内容を振り返り、人権について整理しておく。
		事後学習	介護福祉士の倫理綱領、行動規範について確認する。
第12回	テーマ「高齢者を支える基盤」 社会保障とは何かの振り返りを行いながら、高齢者の生活を支える社会保障(年金制度、後期高齢者医療制度、市町村施策など)について理解できるように進めていく。	事前学習	わが国の社会保障制度について調べておく。
		事後学習	専門職として必要な社会保障制度等の知識について、授業を通じて整理する。
第13回	テーマ「高齢者を支えるサービス」 介護保険制度における在宅福祉、施設福祉サービスを理解するとともに、その他の高齢者の生活を支えるサービスについて理解を深めていく。また、介護福祉士としてどのようなサービスに携わっていくことができるのかについても理解できるように進めていく。	事前学習	高齢者に関わる社会資源を考える。
		事後学習	インフォーマル、フォーマルな社会資源について整理する。
第14回	テーマ「高齢者を支える民間活動」 社会資源のインフォーマルな支援として、ボランティア、非営利民間活動、高齢者向けサービスの現状を理解し、介護福祉士としてインフォーマルな社会資源の理解と活用ができるように具体的な活動を示しながら、進めていく。	事前学習	認知症カフェについて調べる。
		事後学習	インフォーマル、フォーマルな社会資源の活用を検討する。
第15回	テーマ「高齢者を支える介護福祉士の役割」 1回～14回までの授業を通して、介護福祉士の役割を整理するとともに、自分が目指す介護福祉士像と、それに向けて今後何をしていくかについてレポートをまとめる。	事前学習	1～14回までの授業を振り返る。
		事後学習	高齢者を支える介護福祉士として、自分の目指す姿を整理する。